夕刊
ちよばんしんぶん
九月十日
發行兼編輯人 伊藤藤次
印刷人
發行所 福島縣平南町五九 常磐新聞社
日曜祭日翌日休刊
一部二錢 一ヶ月五十錢
廣告料 一行 五十錢

燒夷筒二個を投して
壯絶を極めた防火訓練
平消防隊で昨夜施行

昨報の如く九日れつゝ同所に設けられた建夜平消防隊の模造物に燒夷筒の投じられるのを待つてゐる

△

はれた先づ六時卅分の非常會圖によつて隊員八十餘名はわずか八時三十五分、突如燒夷筒は放され固唾を呑んでゐた群集はザツとどよめき息詰る緊張さを制へてゐたがそ前に集合を了しれも束の間、一臺二臺三臺井上組頭の訓辭そして四台遮光筒を施したの後東、北、西自動車ポンプは肺ふをえぐの三方部に區分るクラクションの響を響かされ各受持區域せつゝ殺氣を放つて驀進殺に配置された、此の間井上倒した

△

組頭、平署猪狩次席、長澤特高主任は自動車を驅つて各方部を巡視した

△

一方訓練場たる大町博覽會跡には最初の警鐘と共に集ひ來た群集が身拵へした警察官、防護團員等に整理さ

假想敵機襲來！

かくて壯絶を極めた防火訓練は十余分觀衆に絶大な感動をあたへ、九時警察署前に整列の上、井上組頭、猪狩次席の講評があつて無事終了した

成績は豫想通り
防空演習には更に一段と

觀衆に絶大の感動をあたへて訓練を終つたのち十時から井上組頭は次の如き意味の講評をした

――多少研究の余地はたとへあつたにしろ大体に於て豫期通りの好成績を收めたと確信する。來るべき防空演習には更に一段の熱意と努力で防護團に協力以つて縣下消防隊の模範を示されたい云々

救護班に參加
赤十字社本縣支部

日本赤十字社本縣支部では十一、二の兩日防空演習に際して平町磐城訓盲院に救護班を設置十一日は午前八時から午後十時迄、十二日は午前四時から正午迄傷病者並に一般の無料診療に從事する

平署管内の消防隊視察

宮城縣桃生郡應來消防組では組頭大江憲太郎氏外廿余名が明十一日來郡平署管内の優良消防組を視察する

添野組合へ
鄉倉貸付

縣より許可指令

隣保相互扶助と勤儉の美風涵養のため制定された鄉倉の今秋の收穫豫想による貯穀等で例年萬を以つて數へ穀物に對する貸付は植田町より添野鄉倉組合員三十四名が縣へ申請中であつたが此程許可指令があつた

警察部長來平
平町の出品好人氣

縣警察部長小田光保氏は今十日來平防護團を視察する

米澤の産業振興共進會

山形縣米澤線は九月一日開通したが之れを記念する全國産業振興共進會に當平町でも木工品、玩具、海産加工品等出品したが豫想外の驗場に於て郡水産會臨時總好成績で品切れになつたので代會を開催する昨九日新たに百五十點を追送した

豐間燈臺は治外法權

防空演習に際し消燈するか否かは海運業者にとつて重大な關係を有するので多大の注目を拂はれてゐたが九日燈臺局より縣保安課に對して

燈臺は防空演習にも平常と何ら變ることなく手配せられたし

と云ふ電報があつたので同課では早速本縣唯一の燈臺たる豐間村の鹽屋崎燈臺に對し手配を通牒した

釜戸諏訪神社大祭
防空演習で一日繰延

渡邊村釜戸山鄉社諏訪神社大祭は二十六、七日（舊）の兩日執行される筈であつたが防空演習のため明後廿七日（宵祭）翌二十八日（本祭）に繰延べられた、當日は講中代參、團体參拜、個人祈願等で例年萬を以つて數へられてゐるが今年の宵祭りには花火、懸賞付豊年踊り

渡邊村釜戸山鄉社諏訪神社浪花節、翌日の本祭りには外に芝居、民謡などの催もあることゝして社務所は其の準備に忙殺されてゐる、なほ一般祈禱者は前日迄に申込むことが便利で普通祈禱料は一圓だが後金でも差支へないとのこと

紫雲英栽培座談會

植田町農會では來る十日午前八時より佐糠農事實行組合事務所で紫雲英栽培座談會を開き午前中は赤津技術員の講演、午後栽培地の實地指導等ある筈

縣下町村長會

縣下町村長會は來月十日頃四倉町で開催される筈で近く期日確定次第同町役場より通牒される筈

本社　小名濱町古港一
支局所在地　平町材木町二〇
四倉町停車場通り
湯本町新校舍前
植田町金畑五

臨時總代會
石城郡水産會

九月十日小名濱町縣水産試驗場に於て郡水産會臨時總會が開催する附議事項は議案第一號十一

十和田湖溫泉廻
團體募集開始
管内隨一の泉驛員の港躍

水戸運輸事務所の秋季旅行團体募集は毎回團体募集には管内一遊覽團体募集は毎回團体募集には管内一集は海拔千の成績を現してゐるがこれ三百尺の高は小名濱、江名、豊間、上山湖で秋の神秘境國立公園遠野、渡邊の各町村が驛勢の名に背かぬ十和田湖を中繁園に屬するのと毎回附添の驛員が誠心誠意當るため今回も管内隨一の成績をあげやうと驛長以下張込んでゐる、プラン左の如し

泉驛では驛員總出動で活躍

神秘なる
秋の夢現境

四倉町の助役上京
水道問題で

過般四倉町では十四萬二千圓を計上して上水道を敷設することに決定し目下主務省に認可申請中であるがこれが認可促進のため長谷川助役は此程内務省に出頭し詳細説明して了解を求めた

本社の質問に對する小名濱町有志の回答

一、小名濱町發展策に關する貴下の御意見
二、貴下の銷夏法

回答

磐城通信社長　小野務平

然らば大眼目に到達するには如何なる方策に出て可ぬ事に歸着するのではなからうか。

展の大動脈でなければならぬ事に歸着するのではなからうか。

福尾君かの御說に江名町の地域の一部をして小名濱町の地區に編入する事が之れが發展策の一つ：數へられて居る樣だが、之れは餘に見界が狹隘だと吾輩は斷言する、何せかと云ふと內務省が小名濱港灣地帶を江名町網取岬と泉村劍岬との尖端東西に一直線を劃し此以北を卽ち港灣地帶と指定したのであるから、港灣問題を解決するには此大精神に則つて築港の大計画に進まねば本町の將來は大し

福尾君かの御說に江名町の地域の一部をして小名濱町の地區に編入する事が之れが發展策の一つ：數へられて居る樣だが、之れは餘に小名濱の中心は西町の方面に移つて、防波堤の如きは劍岬の鼻先きから東に向つて何千間、網取岬から西に向つて何千間、港灣の坪數現在の三十萬坪に何十倍加する內容を擁する港灣が卽ち小名濱町の發展策でなければならぬ。

牧田君の

（つゞく）

× × ×

斯ふなると舟入の如きは地區の編入等は時代遲れとなつて斯ふなると舟入の如きは當つて居ないと思ふ、些くとも

（つゞく）

蓋し小名濱の現在に卽した見界で此の立案が決して

小名濱港修築工事施行狀況

齋藤祐之介

一、岸壁工事

本工事は延長二百十八米水深干潮面下七米三の岸壁を築造するものにして昭和九年十一月着手し約二萬四千立方米の床堀を施行し根固め割石約二千六百立方米を捨込み「コンクリート」函塊八個（延長約百五十五米）を据付け約四千六百立方米の砂及九百五十立方米の塲所打「コンクリート」を函內に塡充し頂部六塲所打「コンクリート」約百四十立方米を施行し裏込として約四千六百立方米の土丹塊を施行して全工事に對し約五割五分を竣功せり

一、護岸工事

本工事は總延長二千十米五十二萬立方米にして江名町字下神白地先第二號埋立地に築造すべき護岸五百三十米の浚渫を施行せり

一、埋立工事

本工事は計畫面積二十二萬九千平方米土量六十四萬四千立方米にして江名町大字下神白地先に施行すべき第二號埋立地面積三萬二千平方米は昭和五年八月着手し昭和九年三月竣工し小名濱町地先に施行すべき第一號埋立地面積十九萬七千平方米は昭和八年十一月着手し內十一萬平方米の埋立を竣功せり

植田町本年度入營兵
勇躍國防の第一線へ

植田町本年度壯丁中抽籤の結果國防の第一線へ立つ名譽の壯丁並に兵科左の如し

▽歩兵　安島賢治　横山辰雄　久住勇　下山田春雄　江尻保雄　高木正雄　大平洋　小川房次　布施武重　佐川一壽　佐藤正巳　阿部春正

▽輜重兵　長江定市　根海孝藏

▽輜重特務兵　嵐源吉　下山田喜一　長瀨啓一　吉川亦造　佐藤賢一　相澤大嶺　諏訪敏夫　薬谷食　鈴木雄庫雄　富岡勝元　山本三成　渡邊重雄

▽騎兵　古川洗　鈴木弘松田久雄

▽野砲　渡邊美英　今橋正春

▽工兵　好彌太郎　和田正男　大竹新五

▽看護兵　會川安

梨立毛品評會

好間村と平窪村では十八日、平窪村では翌十九日梨立毛品評會

奇想天外の
濱だか裝盆踊に
賑つた大漁地藏尊祭典

日本食料工業小名濱出張所構內鎭座の大漁地藏尊の例祭は昨九日執行されたが大漁に歡喜する濱の人々から豐作見越の農村の人達まで名物『日澤大嶺　諏訪敏夫　薬谷食のお祭り』恒例の假裝盆踊りを見んものと夕刻に入山本三成　渡邊重雄れば附近の小路から會社沿道まで身動きならぬ人出と大煙空より中空に浮く華麗な電飾とラウドスピーカーから流れる盆踊唄に四邊は百バーセントのお祭り氣分が横溢、深更まで圓陣は崩れず小名濱の夏、秋祭を通じて唯一の歡樂境を現出した、奇想天外の假裝中審査の結果入選左の如し

一等座布團一組　たぬき
二等シャツ二枚　鬼面
三等　反物一反　六部
四等下駄　淺太郎　五等
石鹸組合せ一箱　防毒マスク
品授與　以下十五等まで賞

平署での一幕
あと幾まく？

今十日娘が誘拐されましたと告訴狀を持つて平署に現はれた女親があつた、右はは井村鈴木民治（二九）と手に手を取つて出奔、平町白銀町山形縣東置賜郡沖鄉村大字關根鈴木カメ（五四）で二女光代（二〇）を十七の歳から石卷の料理屋『ひさご』へ酌婦に出してゐたが、今年五月

△十月五日出發（第一日）出發泉發午前九時一路花卷温泉に至り宿泊（第二日）花卷出發古間木にて乘換へ三本木より燒山經由遊覽船で十和田湖周遊生出に至り大湯溫泉宿泊（第三日）大湯出發秋田市內自動車で見物上の山溫泉宿泊（第四日）上の山溫泉出發一路歸鄉泉驛着二時三十分

△費用合計二十二圓八錢

一日情夫の宮城縣牡鹿郡稻井村鈴木民治（二九）と手に手を取つて出奔、平町白銀町旅人宿屋會津屋へ女中に住み込んだのは正しく民治の誘拐と思はれるから宜しくお取計ひ下さいといふので

あつた

疑はしき節々
或は娘を喰物に？

前記カメは光代を連れ戻つかと係員は目下此の點を追究中である、なほ光代は石卷時代に七圓余の借金はあつたか着物を抵當と置いて計を脫に卷いたり、現に平來たと云ひ『民治さんとならどんな苦勞でも』と殊勝町某周旋屋及び『ひさご』の主人と行動を共にしてゐるが民治に所から、或は娘を他に賣りは妻サツキの間に三人の子飛ばし喰物にする肚でない供まであるのでどうけりが好間村では十八日、平窪村

農村更生資料展覽會
郡農會から出品

來る廿七日から三日間若松もゆかしき滋みのある構造市で經濟更生課主催の農村に主人の精を込めた萬端の更生資料展覽會が開催されるので目下郡農會で郡內からの出品を勸誘中

渡邊村の記帳座談會

渡邊村では十四日午後一時から同村小學校で記帳座談會を開く郡農會柴田技手指導

濱だより

（九月九日）

小名濱魚市場調査

魚名	魚獲高	單價
かつを	三八〇〇本	四〇—六〇
ひいら	一〇〇貫	六〇

平野菜市場況

（九月十日）

品名	數量	高値	安値
南瓜	貫	八	六
長ナス	百ケ	一八	一二
丸ナス	百ケ	四五	三〇
玉葱	貫	二〇	一五
玉葉	貫	二五	
西瓜	貫	三	八
枝豆	貫	一七	一五
人參	貫	一五	一三
馬ゴボウ	貫	二八	二六
里鈴薯	貫	四二	三〇
白サイモ	百バ	五〇	三〇
太根	同	一五〇	一〇〇

御料理幸樂
開店披露
御料理
御待合
幸樂
小名濱町磐城座横（幸樂通り）
今回鳥料理、海老料理に腕自慢のコックを聘し住宅裏に清楚なる旗亭を新築致し九月六日より華々しく開店致しました、從來の御交誼に倍し何分の御引立を懇願申上ます。
鈴木昇七敬白

御料理海老料理
開店披露
鈴木昇七氏の經營
小名濱町磐城座横通りに瀟洒たる新築家屋に幸樂と銘打つて御料理待合の旗亭が誕生した、經營者は鈴木昇七氏で料理人は鳥料理海老

内科・外科（內臟外科 整形外科）
花柳病科・皮膚科
泌尿器科
小名濱町仲町
石井醫院
電話十八番

蛇籠　河川用鐵線
建築用鑛山
金網　幌帳
ホズミ取網
其他金網
一式製造
福島縣平町五丁目
青木眞治

嘘の世間　實の人生

大濤生

詩人ロングフェロオは、『人生は虚夢ではない、人生は實であり、また眞であると。……』人生賦に於て道破した。

その眞實なるべき人生にまた人の世の中に、どうして斯くまで嘘と僞りとが横行縱貫してやまぬでせう!?

見樣によつては、人は嘘をつく存在かも知れませぬ

世事、人事、大にしては國家間の外交に於ても所謂「カケ引き」が或程度まで必要とせられる。

青春の紅夢――ローマンスたる空想的戀愛に於ても月に誓ひ、流れに誓ひ、海に、山に誓願した神聖なるべき童貞男、處女間の聖愛も一寸した事情より、一片の虚夢と化し去り、青春の紅夢も、眞夏の白夢も一瞬にして消える例をしば〳〵散見する。

×××

彼等青年男女の間に眞實が足りないから、加之『嘘の効用』を濫用し過ぎて、相互に心に空虚が出來るから遂に青春の聖愛も泡沫夢幻化するのであらう。

青年にありて戀愛は一種の熱病であるから、狂熱にうなされて夢中になつて、のぼせて居る人々に焦醉な說法をしても到底駄目、さればとて身も心も灼き盡してゐる熱病患者を放任して生死問題のクライマックスまで行き詰まるのを靜觀する事も出來ない次第。

實に世の中は七面倒だ。

しかしながら心靈の根底に眞實性がない樣では、兎に角「生きる資格」がないと斷ずる。

×××

天堂地獄の有無是れを知らない。兎に角われらは幼少年時代を通じて「ウソをつくとエン魔に舌を拔かれるのだ」と敎えられて成長した。然るに漸やく成人するに從つて「ウソも方便」を体驗させられた。

この世智辛らき世の中に眞實ばかりで生き通せぬ破目となつた。本心では、ウソをついてはすまぬと思へども余儀なく「ウソも方便」の樞道をやる。まことに以つて氣分が惡い。

飯時に人を訪問して「御飯は?」ときかれて「どうにすんだ」とウソをしやあ〳〵としてつく。一事が萬事、實人生の境實の世渡りにナカ〳〵ウソが多い。慣性で人も認慣あり、森の哲學者に似たフクロオが陰氣な鳴聲をしてボ、ボと隣家の屋根に鳴く。彼女はあの圓い目玉しを同くがらし、何作て口端しを物色して居る陰險な姿が彷彿する。

更に本日（八日）碧空高く舞ひ飛ぶトビを仰ぎ見た彼れは雄々しく風に乘つて天高く飛ぶ。

糞くば讀者よ！　陰險な夜の鳥となる勿れ!!　天日を目ざし碧空に高く飛ぶ鳥となれ!!!　トビとフクロオ陰と陽、ウソと實の象徴の覩がある。

よそこちらの野狐窟の淫僧に至つては「ウソにウソ」を重ね「僞りに僞り」を積むのも仕方あるまい。

×××

筆者最近深夜目覺むる習慣あり、森の哲學者に似たフクロオが陰氣な鳴聲をしてボ、ボと隣家の屋根に鳴く。彼女はあの圓い目玉しを同くがらし、何作て口端しを物色して居る陰險な姿が彷彿する。

更に本日（八日）碧空高く舞ひ飛ぶトビを仰ぎ見た彼れは雄々しく風に乘つて天高く飛ぶ。

糞くば讀者よ！　陰險な夜の鳥となる勿れ!!　天日を目ざし碧空に高く飛ぶ鳥となれ!!!　トビとフクロオ陰と陽、ウソと實の象徴の覩がある。

子供は下りた拍子に地面を這つてゐる蟻をみて何かひどくびつくりしたやうにその黑い小さな生き物をみつめて暫くはジッと動かなかつた。

私はそれをみて心に思つた。

さうして嘆いた。

自分の過去の詩の中にこの天眞な子供の驚きにますものが一つだつてあつたらうかと。

短歌

人間は四十に足らずて死なましと言ひける人の墓はしきかな

三田英子

美しく死にたき心けふもまたふと甦り寂しかりけり

空低く一筋道は暮れゆきて沈默の中を夫と歩めり

山百合の匂ひほのかに夕ぐれて七面鳥の喧嘩おぞまし

かゆき余り頭をかけば淋しかり髮の毛おちぬ長き髮の毛

激しさ

田中鐵夫

動かない空は
けはしく。
つるはしをぶつこむ。

熱砂にいこふときも
胸は
血をふく
はげしさ。

おゝこのはげしさよ
うす暗いあたりとなる。

童心

牧本四郎

或る夏の夕方
丘を下りた私は
背中の子を
夕風そよく小徑に下した

一枠の青空

矢島大助

窓、
毎日一枠づゝとらへる青空、
一階の事務所は暗すぎるし、
九月の青空は高すぎて摑めない。

事務所では
サーカスの旗のやうな
日覆のはためく窓への
ものうい夢がある。

創作　父

三森徹

私はその中、父の着てゐる古ぼけた外套に見憶えのあるのに氣がつくのであつた。茶色の中折帽は、見おぼえこそなかつたが無慘にも色あせて靑さが薄くにじみ出てゐるのであつた。私のはその中の一つだが、假はこれ等からをして父の如何に疲弊してゐるかゞ想像出來るのであつたが、あれ程派手好みだつた父が、これまでになるには、餘程の事だと驚かざるを得なかつた。私と一つ家に住んでゐだ頃の父は、同じ樣な外套を五つも六つも持つてゐた癖に、又新らしいのが目につくとすぐ買ひたがる質でつたが、父はその大名氣質をそのまゝ受けついでゐれが知れたし、唯三人の家族には不必要な程澤山居た女中が年々減じてその頃には唯一人しか殘つてゐなかりにも父はそんな古いものを平氣で着て歩けるやうなしてゐるのだつた。その癖やまし根性は充分あつたものと見えて鑛山に手を出したり、相場をやつたりして一躍大金持を夢見ながら、いつも失敗しつづけてゐるのであつた。私が父と別れた頃はもう大分家計が左前になつてゐたと見えて、母のふと零す言葉の端々でそれが知れたし、唯三人の家族には不必要な程澤山居たせてゐたのだ。

私の祖先はある小大名だつたが、父はその大名氣質の樣な姿が彷彿する。

更に本日（八日）碧空高く舞ひ飛ぶトビを仰ぎ見た彼れは雄々しく風に乘つて天高く飛ぶ。

糞くば讀者よ！　陰險な夜の鳥となる勿れ!!　天日を目ざし碧空に高く飛ぶ鳥となれ!!!　トビとフクロオ陰と陽、ウソと實の象徴の覩がある。

金融――貯蓄
株式會社　湯本無盡
電話四七番

産婦人科專門
井坂醫院
平町田町　電話五五九番

口腔外科
齒科一般
森合齒科
植田町本町通り
院長　森合芳男
電話植田七十一番

內科、外科
花柳病科
少兒科
會田醫院
院長　會田亮
小名濱町上横町

機械新設　體溫計　無料檢査
あなたの體溫計は正確ですか？
目に見えぬ狂ひを見せる檢度器
毎月十日は無料で
檢定して差上げます
日本酸素株式會社
吸入用酸素
酸素吸入器　特約指定販賣店
福島縣小名濱町
商工省指定計量器販賣店
資生堂
電話一四七番

曳前のお知らせ
家屋其他動産の移動
少しの損傷もさせないで曳前の
御依頼に應じます
御希望の方は一應御相談下さい
小名濱町榮町（築港地內）
三崎組　北村芳藏

森口產科婦人科醫院
小名濱町舟引場登記書先
◆入院應需◆　電話二〇一番
江名町分院　江名町郵便局通り
毎日午後二時――六時迄出張診察

銘酒『玉の井』
長瀨彰義釀造
石城郡玉川村

眼科一般
小名濱眼科醫院
小名濱町

祝造花
調製
山田光雲堂
店主　山田信次
創業以來茲に二十年皆々樣の深甚なる御引立に相成り誠に有難く厚く御禮申上ます私に創業前東京技藝校を卒へ造花の研究を致して居りますが未だ一人前の藝術家として立つ事が出來ず御滿足を與へる事が出來ません。此後皆樣の御指導の下に一層研究致し度御批判の上御引立御叢雲下さいます樣切に御願ひ申上ます
■祖先崇拜は家庭繁榮の礎■
平四丁目局通り
電話五五〇番

御旅館
御料理
吉田屋本館別館
小名濱町
電話十四番

磐城セメント特約代理店
良品廉賣に勝る商略なし
久　釜屋商店
磐城平町五丁目
電話九番　九九番
東京振替貯金口座一〇九五六

營業品目
石油部
米穀部
魚油部
魚粕部
製繩部
株式會社　亀井商店
本店　宮城縣鹽釜港
小名濱駐在所
小名濱町榮町
電話至急買入れ度

內臟外科
一般外科
レントゲン科
北川外科
平町新川町（諸橋醫院跡）
醫學博士　北川芳夫
（血液檢査毎日）　小林良次
イツデモ入院デキマス
電話四六四番

ほねつぎ
平町搔槌小路四
大河內接骨院
電話五八八番

自動車の御用命は
親切第一の
平タクシーへ！
平町二丁目横町　電七九番

產科婦人科
根本醫院
平町南町五二　電話三四番
入院隨時
手術室完備
根本莊次郎
根本眞雄

昭和家政婦會へ
電話二七一番
すまし致願お
平田町五番地　電二七一